



無料

大腸がん検診について

大腸がんは近年増加しており、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。しかし、早期に見つけ治療することで生存率が高まるため、定期的ながん検診を受けることが大切です。40歳以降に増加するため、今年度は下記の対象の方へ無料で検体キットを配布しますので、この機会に大腸がん検診を受けましょう。がん検診結果は町で把握させていただきますので、ご了承ください。

1 無料大腸がん検診対象となる方

下記の生年月日の方で、小鹿野町に住所のある方

令和3年4月1日時点で40・45・50・55・60歳に該当する下記の生年月日の方
なお、転出した場合は小鹿野町のがん検診が受診できませんので、ご了承ください。

昭和55年4月2日～昭和56年4月1日
昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
昭和45年4月2日～昭和46年4月1日
昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
昭和35年4月2日～昭和36年4月1日

5年に1度の
無料チャンス！
この機会にがん検診を受けましょう。



2 検診の内容

便潜血検査（2日法）

裏面の注意事項もお読みください。

3 無料がん検診の期限

令和4年2月28日（月）まで

4 提出方法

検体容器を保健福祉センター窓口または両神庁舎おもてなし課の窓口へ提出ください。 ※検査結果は郵送します。

○ 窓口にある提出用のボックスへ置いてください。

※検体や袋に氏名・年齢など必要事項のご記入をお願いします。

- ・採取したら、早めに提出ください。
- ・土日でも日直がいるため提出は可能ですが、なるべく平日に提出ください。
- ・年末年始など長期休みの場合は、検査が出来ないため、提出はできません。
- ・町立病院の人間ドックで今年度大腸がん検診が済んでいる方は、提出の必要がありません。

大腸がん検診の注意事項について

大腸がん検診を受けることで大腸がんによる死亡のリスクが減少します。しかし、検診ではがんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

検診は毎年定期的に受けてください。ただし、血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状がある場合は医療機関を受診してください。

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。精密検査の第1選択は全大腸内視鏡検査（胃カメラ）です。便鮮血検査は毎回陽性になるわけではないので、もう一度便潜血検査をするのは良くありません。一度陽性の反応が出たら、必ず精密検査を受けてください。また、精密検査の結果は実施主体である、町にも結果を共有しますのでご了承ください。